

## 令和4年度 学校評価結果報告書

桶川市立加納中学校

校長 相澤 仁志

目指す学校像 「一人一人が輝き 夢と誇りのもてる 爽やかな学校」

- (1) 明るい元気な挨拶を交わす和やかな学校
- (2) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校
- (3) 生き生きと学びがあふれる学校

学校運営協議会委員評価欄の記入については、[ A B C D ] のいずれかに○をつけていただきました。  
 (『 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない』)。新型コロナウイルス感染症の影響のため、判断できる範囲での評価となっていることから無回答の率が高くなっています。

職	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価欄
				評価	評価の理由・課題	
1 組織・運営 (学校組織の活性化を推進する。)	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	A	【評価の理由】 情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務が進められている。 【改善策】 C4th の活用をさらに図っていく。デジタルではない情報共有も併用していく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	2	各分掌・特別委員会活動の活性化	【校務分掌の各主任を中心に分掌内で課題を共有し、前年度の反省を生かした計画を立てて実践している。】	A	【評価の理由】 分掌によって、活動の活性化において差がある。情報の周知に課題が見られる。 【改善策】 コロナ以前に遡って確認し、仕事内容の精査を行う。(伝統の継承と取捨選択)	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
2 学習指導 (確かな学力を育成する。)	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに応じた手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	A	【評価の理由】 各教科、机間指導、小テスト等で生徒の実態を把握し、個別の対応をとっている。 【改善策】 生徒の個々の課題やつまずきをとらえ、各教科で方策をさらに工夫していく。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	A	【評価の理由】 明確なルールのもと、よりよい学びになるよう取り組んでいる。さらなる徹底が必要である。 【改善策】 継続して取り組んでいくとともに、現状に対応した具体策を工夫していく。	A 75% B 0% C 0% D 0% 無回答 25%

	5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	A	【評価の理由】 わかりやすい授業や授業プリント、繰り返し学習、課題等の工夫を行った。 【改善策】 基礎的・基本的な知識技能については、とりこぼしがないようにできるまで見届けていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	A	【評価の理由】 授業の導入の場面の工夫、多くの実験・観察等の体験的な学習を行い意欲を高めた。 【改善策】 来年度の学校課題研究のテーマに据えて、今後さらに取り組んでいく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
3 生徒指導・教育相談（生徒指導・教育相談を充実させ、いじめ・不登校の防止に努める。）	7	自己指導能力（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を育成する指導の推進	【各種アンケート結果を利用して生徒の実態把握をし、面談等を通して解決策を考えるようにしている。】	A	【評価の理由】 聞き取りや面談等をその都度行い、小さな変化を見逃さないようにしている。 【改善策】 今後もアンケート等を活用しながら適宜二者面談等を行い、解決策を考えていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、いじめ報告30%減を目指す。】	A	【評価の理由】 生徒指導部会、教育相談部会を中心に早い対応に努めている。さらに、きめ細やかな対応を行う。 【改善策】 生徒の細かい変化に目を向け、見逃さないようにする。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細やかな対応を行い、保護者との連携もしている。】	A	【評価の理由】 学年ごと学年職員や生徒指導主任が連携して、組織的に行われていた。 【改善策】 生徒指導委員会を要として学年職員だけに限らず、全職員での生徒指導協力体制をつくる。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動（「3日欠席→家庭訪問」「保護者との連携」）などの対応を行っている。】	A	【評価の理由】 部会での情報共有を行い、保健室・さわやか相談室と連携しながら家庭訪問や面談を行った。 【改善策】 引き続き組織的な対応をしていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
4 健康教育（体力の向	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	A	【評価の理由】 手洗い・消毒・黙職を心がけている。また、掲示等での呼びかけも引き続き行った。 【改善策】 引き続きマスクの着用、換気、手洗い消毒等の感染症予防対策を継続して行っていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%

	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	A	【評価の理由】 定期的な安全点検の実施と、修理の迅速に実施など、事故の未然防止に努めている。 【改善策】 安全担当は点検結果を営繕担当と協議し、直せるものは直し、できないものは市教委へ依頼をする。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めていたりしている。】	B	【評価の理由】 注意喚起は行っているが、交通ルールやマナーの徹底に課題がある。 【改善策】 生徒会の挨拶運動や交通指導教室の実施を検討、実施していく。	A 37.5% B 37.5% C 0% D 25% 無回答 0%
5 学習環境 (よりよい教育環境づくりを推進す	14	ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実	【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】	A	【評価の理由】 ユニバーサルデザインを意識して、教室前面の掲示は統一感をもって実施できている。 【改善策】 全クラスで徹底できるよう、年度始めの職員会議等で確認する。	A 37.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 62.5%
	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	B	【評価の理由】 清掃時間に、しっかりと清掃に取り組めていない生徒、場所がいくつか見られた。生徒全員が集中し、取り組めるようにしたい。 【改善策】 清掃場所の担当の教員が清掃への取組の確認を徹底する。	A 37.5% B 12.5% C 0% D 0% 無回答 50%
6 教職員の資質向上 (教職員一人一人の資質や指導力を高	16	計画的・組織的な職員研修の充実	【教職員が主体性を持って参加できる研修を設定し、計画的、組織的に指導力の向上に努めている。】	A	【評価の理由】 情報担当、研究主任の先生方を中心に ICT 研修、道徳に関する研修などを多く開催できた。 【改善策】 研修以外にも、相談、教え合うことを通して指導力を向上させていく。	A 37.5% B 12.5% C 0% D 0% 無回答 50%
	17	職員相互の尊敬・信頼にもとづく積極的なコミュニケーション・アドバイスの実践	【職員相互の尊敬・信頼・協力により、生き甲斐と張りのある明るい職場をつくっている。】	A	【評価の理由】 些細なことでも学年内で話題にすることで意思疎通を図るなどしている。 【改善策】 お互いが相談しやすいような雰囲気を醸成することを常に心がける。	A 50% B 0% C 0% D 0% 無回答 50%
7 家庭・地域との連携 (地	18	小中一貫教育を念頭においた校種間(小・中・高)連携教育の強化・推進	【授業見学や出前授業、小中連絡会、小中研修会、各種学校行事への児童生徒の参加等、積極的に小学校との連携を図っている。】	A	【評価の理由】 「あいさつ運動」「出前授業」「6年生の中学校見学」「部活動見学」などに取り組めた。 【改善策】 コロナ後を見据えて準備をしていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%

	19	積極的な情報発信と保護者・地域と連携した活動の充実	【各種たよりやHP、情報メール等で教育活動の様子を発信したり、積極的に学校を公開し、教職員が保護者や外部の人材と積極的に連携をとろうとしたりしている。】	A	【評価の理由】 積極的な情報発信（ホームページや学校だより）を行った。 【改善策】 更新頻度を高めるために、各学年のホームページ担当と連携して組織としてホームページの更新に取り組んで行く。学校情報メールの活用を図っていく。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
8 心の教育 (全教育活動を通して、心豊かな生徒を育てる。)	20	自主的・実践的態度を育む学級活動・生徒会活動の充実	【望ましい集団生活の中で、一人一人が自主性や創造性を伸ばそうとする態度を育成している。】	A	【評価の理由】 委員会を動かし清掃ボランティアを行うなどに取り組んだ。さらに活発にしていきたい。 【改善策】 担当教諭や委員長を中心にそれぞれの活動の幅を広げていけるように工夫する。	A 62.5% B 0% C 0% D 0% 無回答 37.5%
	21	道徳の時間を要とし、道徳的実践力を育む指導の充実	【全職員が内容項目を理解し、道徳的価値を念頭に置いた指導をし、生徒の変容を見取り、評価している。】	A	【評価の理由】 3年間の研究の成果と研究発表会を通して、道徳的価値を念頭に置いた指導が充実した。 【改善策】 研究成果を今後も引き継ぎ発展させていく。	A 50% B 0% C 0% D 0% 無回答 50%
	22	豊かな心と感性の育成を目指した体験活動の充実	【積極的に地域の人材を活用するなどして体験活動の充実を図っている。】	B	【評価の理由】 コロナ禍のため体験活動等の充実を図ることは困難であった。 【改善策】 コロナ禍でもできる内容を検討し、昨年度よりもできる事を増やしていく。	A 37.5% B 25% C 0% D 0% 無回答 37.5%